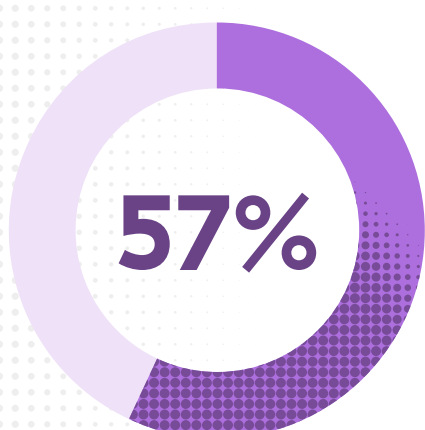


従来型のファイアウォールに対するIT担当者の本音

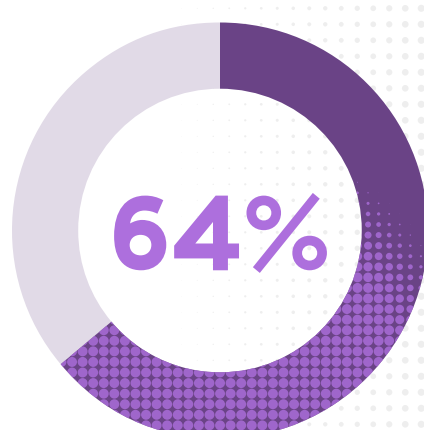
IT担当者の声

現在のクラウドファースト コンピューティング環境において、従来型のファイアウォールと境界中心のセキュリティー アーキテクチャーの運用にはどのような課題があるのか。これを探るべく、ITおよびOTの各分野にわたる350人以上のIT担当者と意思決定者からなるオンライン コミュニティーの参加者に対し、実際の経験を尋ねました。

不十分な保護

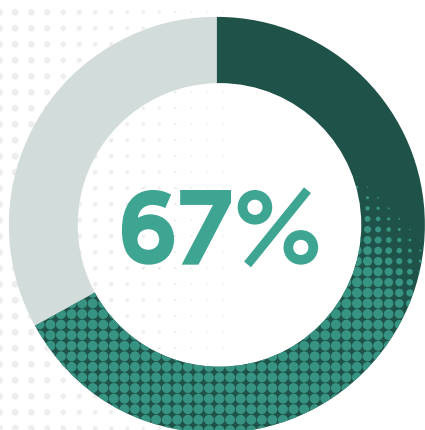


ファイアウォールはランサムウェアの阻止に不十分だと強く思う回答者の割合

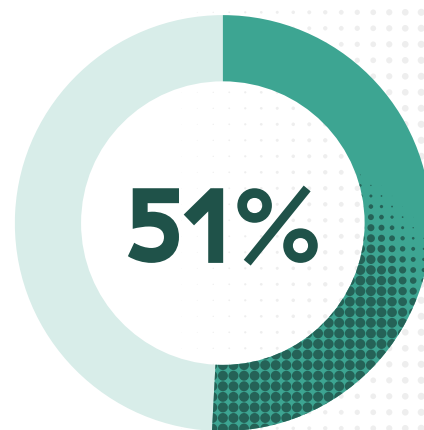


ファイアウォールでは、ネットワーク内の水平移動を防ぐことができないと答えた回答者の割合

パフォーマンスの低下がエンドユーザーの生産性に影響



ファイアウォールでは、リモートユーザーに高速で安全なアクセスを提供できないと感じる回答者の割合



リモートトラフィックを自社のデータセンターにバックホールしている企業の割合

ユーザー エクスペリエンスの悪化が課題

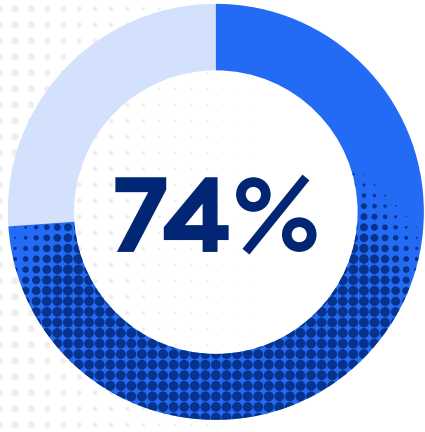
管理者の悩みの種とは

74%

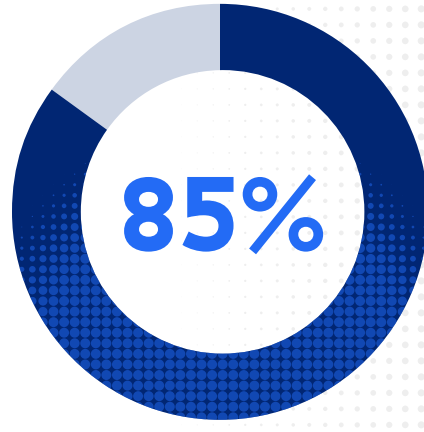
リモートユーザーおよびサードパーティーの請負業者に向けた、ネットワーク アクセスの許可について懸念している回答者の割合

「自社のユーザーを保護できない従来型のテクノロジーでより広い範囲のユーザーに対応することなど不可能です」

管理の容易さが鍵



ファイアウォールのハードウェアやアップグレード、導入の管理は困難だと考える回答者の割合



ファイアウォール機能は、真のクラウドサービスとして提供するのが最善だと考える回答者の割合

クラウドで新たな時代へ

64%

クラウド セキュリティーの運用はファイアウォールの管理よりも長期的なキャリアとして優れていると答えた回答者の割合

さらなる詳細について

さまざまな知見を紹介するウェビナーをご覧ください

今すぐ登録